



縄文はナゾだらけだからオモシロイ!

視野と発想がひろがる ワークショップ part 2



気になるセンサーで“感じる・みる” 縄文展をあるこう!

8/4日

5歳以上
大人単独・
親子参加歓迎

時間 13:00～15:00

参加費 無料 ★特製「知図帳」プレゼント

場所 ナチュの森 森の工舎2階 縄文展会場
北海道白老郡白老町字虎杖浜393-12



★「知図帳」に発見をメモしていきます。白老製の上質紙を使った水平開き(特許)のとても書きやすいノートです

「縄文」だから社会科の勉強だ!といきなり本で調べたり、こたえを探してしまいませんか。縄文は正解がみつかりにくい、ナゾが多い時代だからこそ、それをさぐってみることをもっとおもしろがってみましょう。このワークショップは、「学ぶ」の前に、まず好奇心を動かしてみよう!というものです。「なんか気になる!」「なんだらう?」というモードを先に発動させると、好奇心が動きだし、自然と知りたいことがでてくる。そんな体験をしてもらおうと、気になるセンサーの感度があがっていくことで今話題の「Feel度Walk」提唱者の市川力さんをゲストにお招きしました。縄文展をみんなでおもしろがり、気になるセンサーで好奇心を全開にいきましょう。

講師

市川力

一般社団法人
みつかる+わかる
代表理事



広域通信制明蓬館高校副理事長 1963年東京都立川市生まれ。学習院大学・大学院で認知心理学(人がいかに学び、知識や記憶を形成するかの研究)を学んだ後1990年渡米。日本人駐在員の子どものための学びをサポートする学習塾を運営。2003年に帰国。2004年に東京コミュニテイスクール(TCS)の立ち上げに参画。2017年春にTCSを卒業後、全国津々浦々で大人と子どもがともに学び成長する場づくりを行っている。主な著書は、『英語を子どもに教えるな』(中公新書ラクレ)『探究する力』(知の探究社)『ジェネレーター 学びと活動の生成』(学事出版)最新刊は、『知図を描こう!あるいてあつめておもしろがる』(岩波ジュニアスタートブックス)

体験の特徴

- 会場内で気になったことを写真に撮ろう
- 発見をメモしよう(知図をつくってみる)
- 発見をみんなでシェアし合い、視点の違いを楽しもう

こんな人に オススメ

- 「感じる・みる」を体験したい
- 社会の勉強が苦手だ
- 縄文はよくわからない
- 縄文ってなんとなくおもしろそう
- すぐ調べるのが習慣になっている など

WEBでお申込みください



『ナチュの森で縄文にであう展』主催: 株式会社ナチュラルサイエンス

高秀章子

「ナチュの森で縄文にであう展」
企画プロデューサー
atelier Beyond LLC代表



雑誌や情報誌の編集、コミュニケーションツールの制作ディレクター。2001年頃より社会と学校をつなぐ学びのプログラムに関わり始め、好奇心が発動していく場に興味を持つ。コドモとオトナが視点を混ぜ合い、発見と観察を共にたのしむ「ぐるぐる探究隊」主宰&ジェネレーター。